

大正三年十二月改正

桑名宗社御祭典諸規約

伊藤文庫

392

本規約書ハ大字町ニ備置クモノナレバ其町取
締長改選毎ニ後任者へ必ズ引繼クモノトス

御社頭係選舉條例

御社頭係ハ三名トシ内一名ヲ長トス氏子中ニ居住シ當御社頭ニ相當ノ功勞アル者ヲ氏子町取締長即
毛惣代人ノ公選ヲ以テ囑託シ其ノ任期ヲ六ケ年トシ三年毎ニ全部ノ半數ヲ改選ス最初ハ抽籤ヲ以テ
一名ヲ改選ス但シ再選スル事ヲ得

御社頭係ハ特ニ其本務アルヲ除クノ外御社頭一切ノ事務ヲ處理スルモノトス御社頭ニ從來付屬スル
全般ノ職員ハ御社頭係ノ特選委囑スルモノトス顧問員ハ御社頭ノ元老ナレバ常ニ其ノ意見ヲ諮詢ス
ルモノトス

同附則

明治廿四年六月十六日附三重縣令第廿七號ノ氏子惣代人ハ御社頭係ヲ以テ當ツルモノトス

祭典係選舉條例

二

一 當社ニ功勞アル者ヲ社頭係ニ於テ選抜シ各町取締長即チ總代人ノ承認ヲ經テ定ムル者トシ任期ヲ六ケ年トス

但再選スルモ妨ナシ

一 祭事委員ニ隨伴其職務ヲ補翼スル事アルベシ

御祭典參列員選舉條例

一 御祭典參列員ハ六ケ年以上祭事係ヲ奉仕シ相當ノ功勞アル者或ハ特ニ功勞アル者ヲ御社頭係ニ於テ選抜シ各町取締長即チ總代人ノ承認ヲ經テ定ムル者トシ任期ヲ六ケ年トス但再選スル事ヲ得

一 大祭典式及有事ノ日ニハ參集スルモノトス

一 御社頭係ノ諮問ニ應シ又ハ意見ヲ開陳スル事ヲ得

三

祭典議事規則

第一章 總 則

第一條 祭典會議ハ左ニ掲ケル各款ヲ議定ス

第一款 祭典式ヲ確定スル事

第二款 祭典費額ヲ議決スル事

第三款 祭典取締規約ヲ改正加除スル事

第四款 祭典取締規約違反者要償金ノ多寡休祭ノ年數ヲ定ムル事

第二條 會議ハ社頭係ヨリ招集シ第一條ノ事項ヲ議スルモノトス祭事委員或ハ議員三分ノ一ノ請求ニ依リ開會スル事アルヘシ

但通常會ハ毎年六月一日開會シ時機ニ依リ變更ス

第三條 會議ハ公開スト雖モ時機ニ依リ傍聽ヲ禁スル事アルヘシ

第四條 決議ハ祭事委員會ニ於テ可決ノ上御社頭係ノ認諾ヲ經テ之ヲ施行ス若祭事委員會ニ於テ否決スル時ハ再議ニ付スル事アルヘシ猶再議ノ決議ヲ祭事委員會ニ於テ否決スル時ハ祭事委員會及祭典會議ノ代理者各五人ツヽヲ出シ神慮ノ裁定ヲ仰クモノトス

第五條 祭典議事細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 祭典會議ハ社頭ノ門前ニ告示ス

第二章 選 舉

第七條 議員ハ每町一名トス但取締長ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 議長副議長ハ議員中ヨリ互選ス但任期ハ一ケ年トス

第九條 書記ハ社務所ニ於テ豫テ之ヲ選ビ庶務ヲ整理ナサシム其ノ雇料ハ祭典費ヨリ支辨ス

第三章 議 則

第十條 議事ハ議員二十名以上出席スルニアラサレハ開會スルヲ得ス但同一ノ議事ニ付召集再回ニ至リ定數ニ滿タサルモ本條ノ限ニ非ス

第十一條 議事ハ過半數ニ依リ決メ可否同數ナル時ハ議長之レヲ定ム

第十二條 此議事規則ヲ改正加除セントスル建議アリテ二人以上同議アル時ハ之ヲ會議ニ付スルヲ得

祭典議事細則

第一條 凡テ會議ハ午後第一時ニ始リ同第五時ニ終ル伸縮スルハ議長ノ指揮ニ依ル但時宜ニ依リ夜會ヲ開ク事アルヘシ

第二條 議員ノ席次ハ到着ノ順序ニ依テ之ヲ定メ各其席ニ着クモノトス

第三條 議案ノ可否決ハ三次會ヲ經テ定ムルモノトス其順序左ノ如シ

第一次會 總牀論

議長ハ先議案ヲ各議員ニ分配シ書記ヲシテ之ヲ朗讀ナサシメ議案ノ主旨ニ付不審ノ件アラハ議員ヲシテ質問ヲ要セシメ答辨者答辨終テ後議長ハ議員ヲシテ議案ノ總牀ニツキ發議討論ナサシメ議題ノ爲メ第二次會ヲ開ク可キヤ否ヤヲ決ス若可決スル時ハ之ヲ第二次會ノ議案トス但第一次會ニ於テ修正意見ヲ陳述スルヲ得スト雖ニ議員二名以上ノ請求ニ依リ委員ヲ選ヒ議案ノ全部ヲ托シテ調査セシメ或ハ取捨セシメムト決スル時ハ委員ノ報告ヲ受ケ更ニ通常ノ手續ヲ開クモノトス

第二次會 逐條議

議長ハ前會ニ於テ可決シタル議案ヲ逐條審議ナサシムル爲メ書記ヲシテ每條朗讀ヲナサシメ其條ノ可否ヲ決シテ後次條ニ及ハシム但本會ニ於テ修正諸説ノ可決セラレタルモ其字句ヲ校定セ

サル可ラスト議決スル時ハ議長ハ之ヲ委員ニ附シテ整理ナサシメ第二次會ノ終ニ於テ其報告書ニ就キ可否ヲ決シ然ル後議題ノ爲メ第三次會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ議決ナサシムヘシ若否決シタル時ハ其議案ヲ消滅セルモノトシ可決スル時ハ之ヲ第三次會ノ議案トス

第三次會 確定議

議長ハ前會議決スル所ノ議案ヲ朗讀ナサシメ其ノ全案ノ可否ヲ確定ナサシム但本會ニ於テ修正ノ發言ヲ要スル議員ハ其ノ意見ヲ陳述スルヲ得ルト雖モ此ノ意見ハ五名以上ノ贊成者アルニアラサレハ動議トスルヲ得ス若此ノ動議用井ラレタル時ハ議長ハ之ヲ會議ニ問テ其ノ議案ヲ確定ス尤發言討論ハ三回ヲ越ユヘカラス

第四條 議案每條朗讀ノ後發言ナキ時ハ全會ノ認可ナリトシ議長ハ次條ノ朗讀ヲ爲サシムルヲ得

第五條 議場ニ於テハ議長議員トモ皆氏名ヲ呼ハス議長ニハ議長ト呼ヒ議員ニハ何番議員ト稱スヘシ

第六條 會議中發言セント欲スル者ハ必ス議長某番ト呼ヒ發言セント欲スル事ヲ知ラシム議長ハ其ノ議員ノ番號ヲ呼ヒ衆議員ヲシテ發言者ノ誰タルヲ知ラシム若同時ニ二人以上ノ發言アル時ハ議長ハ其ノ一名ヲシテ發言セシム又如何ナル場合ニ於テモ議長ハ議員ノ發言ヲ停止セシムルコトヲ得

第七條 一議員發言中ハ他ノ議員ハ靜默シテ其ノ發言ヲ滿場ニ洞達爲サレムルヲ要ス

第八條 凡テ一議件未タ了ラサルニ他ノ事件ニ付發議スヘカラサルモノトス

第九條 會議ノ發言ニ賛成ナキ說ハ動議トシテ可否決ヲ取ルノ數ニ加フルヲ得ス

第十條 會議中議長自己ノ意見ヲ述ヘント欲スル時ハ書記朗讀ノ後其ノ事ヲ演ヘ副議長ニ席ヲ讓

ルヘシ副議長モ亦意見アリテ其ノ席ニ上ルヲ辭スル時ハ議長ハ議員中ニテ其ノ一名ヲ命ジテ己

レニ代ラシメ議員ノ席ニ就クヘシ其ノ一議終レハ直ニ議長ノ席ニ復スルモノトス但議員席ニ列

スル間ハ他ノ議員ト異ル事ナシ

第十一條 議員ハ會議中充分質問或ハ討論駁議スト雖モ必ス議長ニ向テスヘシ其ノ相互ノ問答ニ

涉ルヲ許サス

第十二條 辨論未タ終ラスト雖モ議長ニ於テ論旨既ニ盡キタリト認ル時ハ之ヲ會議ニ問テ議題ノ

決ヲ取ル事ヲ得

第十三條 修正說ハ原案ニ先チテ可否ヲ決ス其ノ說數端ニ分ル、時ハ議長ハ最原案ニ異ル說ト認

タル者ヲ先ニス若修正諸說各過半數ニ至ラサレハ仍原案ニ就テ可否ヲ問ヒ終ニ可決スル時ハ其

ノ議案ヲ消滅セルモノトス但修正說ノ否決セルモノハ其同次會ニ於テ再ヒ之ヲ提出スルヲ得ス

第十四條 時宜ニヨリ内議ヲ要スル事アル時ハ小會議ヲ開キテ之ヲ議スル事ヲ得

第十五條 出席議員ハ可否ノ數ニ入ラサル事ヲ得ス

第十六條 會議中止ヲ得ス議場ヲ離レントスル議員ハ其旨ヲ議長ニ告ケ議長ノ許可ヲ得ルモノト

ス

第十七條 議場ニ於テ會議中ハ必ス談話或ハ吸烟ヲ禁ス

第十八條 議員欲席又ハ遲參スル時ハ其ノ事由ヲ社務所ヘ届出ツヘシ

第十九條 此ノ議事細則ヲ改正加除セントスル建議アリテ二人以上同議アル時ハ之ヲ會議ニ附ス

ルコトヲ得

祭典式

第一章 石取御神事式

第一條 石取御神事ハ毎年七月六日七日兩日執行スルモノトス

第二條 鉦鼓打始メハ御社頭ノ指揮ヲ待チ六日ハ午前第一時トシ七日ハ午前第二時ヨリ打始メ而

テ試樂日ハ午後第十二時限リ本樂日ハ居町ニ歸ルヲ限リ之ヲ停止スルモノトス

第三條 祭車ニ用ユル萬度ノ正面ニハ石取御神事ノ文字ヲ一様ニ記載スルモノトス

第四條 献石ハ祭日又ハ其ノ以前ニ町屋積ヨリ拾採シ每町清淨ノ地ニ備置キ本祭日ノ用ニ供スル

モノトス

第五條 献石式ハ本祭日即チ七日午前第十時朝御饌式以前ニ取締長取締人附添ヒ執行スルモノト

ス

第六條 祭典市街ヲ九組トス其區畫ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一組 上本町 中本町 北本町 川口町 東中舟町 東船馬町

西船馬町

第二組 宮 通 片 町 江戸町 京 町

第三組 北魚町 三崎通 風呂町 宮 町

第四組 職入町 油 町 南魚町 田 町 殿 町

第五組 吉津屋町 銀冶町 紺屋町 入江霞町

第六組 新 町 傳馬町 萱 町

第七組 舟 町 小網町 寶殿町 清水町

第八組 寺 町 提 原 中 町 北 町 今片町 住吉町

太一丸東組 太一丸

第九組 東鍋屋町 西鍋屋町 東矢田町 西矢田町 福江町 掛 樋

八幡瀬古

第七條 毎年七月一日社務所ニ於テ抽籤ヲ以テ各町祭車ノ番號ヲ定ムルモノトス

第八條 本祭日即チ七日ハ各町ノ祭車ニ番號ヲ掲ケ午后第三時マテニ以南ハ京町界ヨリ以北ハ今

一色廓ニ隔年毎ニ更番ヲ以テ番號順次ニ整列シ午後第四時ヨリ祭車ヲ進テ午後第十時マテニ一

同參拜シ畢ルヘシ尤祭車引出シハ係員ヨリ指圖ヲ受クヘキモノトス

第九條 參拜道筋ハ以南ハ京町ヨリ以北ハ京橋ヨリ宮通ニ到リ神前ニ參拜シ畢テ本町ヲ經テ船馬

町ヲ東ハ川口町江戸町片町ヲ回轉シテ歸路ニ付クモノトス

第十條 參拜畢テ前條ノ規定ヲ經ス居町ニ歸ラント欲スル時ハ係員ニ届出テ其ノ指圖ヲ受クヘキ

モノトス

第十一條 祭車挽回ハ界杭取拂迄組合町ニ限ルモノトス

第十二條 祭車ニハ必ス取締長及ヒ取締人附添ヒ前後ヲ警護シ夜中ハ定式ノ提灯ヲ携帶シ嚴肅取
締ルベキ責任アルモノトス

第十三條 七月五日午後第四時迄ニ注連繩ヲ以テ境界トナシ同七日正午限り取拂フベキモノトス

第二章 前期桑名祭式

第十四條 前期桑名祭(石取比與利大祭典)ハ毎年七月十六日十七日両日執行スルモノトス

第十五條 毎年七月十五日午後第三時北南御旅所ハ隔年毎ニ更番ヲ以テ御神輿渡御同十六日午後

第三時還御ノ事トス

第十六條 各町傘餘其他遺物ヲ出スハ適宜タリ但毎年七月一日社務所ニ於テ抽籤ヲ以テ各町遺物
ノ番號ヲ定ムルモノトス

第十七條 本祭日即チ十七日ハ旗號ヲ捧ケ午後第一時マテニ宮通堺ヨリ京町及ヒ吉津屋町ニ番號
順次ニ整列シ午後第二時ヨリ進行シ樓門前ニ於テ參拜スルモノトス尤進行ノ期ハ係員ヨリ指圖
ヲ受クベキモノトス

第十八條 參拜ノ道筋ハ京町ヨリ宮通ニ樓門前ニテ參拜シ畢テ本町ヲ經テ船馬町ニ出テ各自適宜

ノ歸路ニ就クモノトス

第十九條 前祭日即チ十六日ハ適宜ニ巡回シ遺物ノ技ヲ演スルモ妨ケナキモノトス

第三章 後期桑名祭式

第二十條 後期桑名祭(御車大祭典)ハ毎年九月十七日十八日両日執行スルモノトス

第二十一條 毎年九月十五日ヨリ北市場南市場ノ兩車ヲ裝飾スルモノトス

第二十二條 奏樂童子出勤組合町及ヒ人員ヲ定ムルコト左ノ如シ

北市場

第一 江戸町 上木町 中本町 北本町 東中舟町 西船馬町

東船馬町 川口町

第二 風呂町 五ツ舟町 田 町 殿 町 北魚町 三崎通

宮 町 小網町 寶殿町 新寶殿町 清水町

第三 寺 町 堤 原 北 町 中 町 今片町 住吉町

相生町 太一九 太一九東組

南市場

第一 東鍋屋町 西鍋屋町 東矢田町 西矢田町 福江町 掛 樋

- 第二 宮 通 京 町 片 町 南魚町 職人町 油 町
- 第三 吉津屋町 鍛冶町 紺屋町 入江霞町 新 町 傳馬町
- 萱 町 桑 名

奏樂童子人員

- 北市場 六名 内三名正員 三名 豫備員
- 南市場 六名 内三名正員 三名 豫備員

但年齢ハ十一歳ヨリ十三歳マテトス

第二十三條 奏樂童子ハ各組合町ニテ三名ツ、順次出勤セシムルモノトス

第二十四條 奏樂童子ノ選舉ハ各組適宜ノ方法ヲ設ケ七月廿五日其組合各取締長連署ヲ以當選人

ノ住所姓名年齢及ヒ其父兄ノ姓名ヲモ社務所へ届出ツヘシ

第二十五條 奏樂童子ニ關スル凡テノ要件ハ其ノ町取締長ニ於テ取扱フベキモノトス

第四章 附 則

第二十六條 祭典ノ節ハ毎戸國旗ヲ出シ獻燈スルモノトス

第二十七條 止ヲ得サル事故アリテ此ノ式ヲ改正加除セントスル時ハ議員三分ノ一以上ノ動議ヲ

ルカ御社頭係又ハ祭事委員一同ノ不可ト認ルニアラサレハ會議ニ付スルヲ得ス

附則 右ノ箇條暨夕神明ニ誓ヒ確定スル以上ハ必ズ違犯スベカラス因テ御社頭係祭事委員及ヒ取締

長一同記名捺印シ神庫ニ納メ置クモノトス

祭典取締規約

十六

第一條 祭典トハ新年祭石取御神事前期桑名祭(石取比與利大祭典)後期桑名祭(御車大祭典)新嘗祭ヲ云フ

第二條 前條ノ祭典式ハ確守スルモノトス

第三條 御社頭係ノ人員選舉及ヒ任期職制等ハ選舉條例ノ定ムル通り承認ス可キモノトス

第四條 祭事委員ハ十二名トシ北市場部内ニ六名南市場部内ニ六名トス尤一部内ニ限り各町氏子惣代ノ公選ヲ以テ囑托スルモノトス

第五條 祭事委員ノ任期ハ六ケ年トシ三年毎ニ全部ノ半數ヲ改選ス最初ノ改選ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但前任者ヲ再選スルモ妨ナシ

第六條 祭事委員ハ桑名町氏子惣代トナリ年内祭事ニ係ル一切ノ事務ヲ管掌スルカ爲メニ其居町ノ年行事ヲ除クモノトス

第七條 祭事委員ハ祭典經費ノ徴収支出ヲ掌リ其ノ決算報告ヲ爲スモノトス

第八條 祭事委員ハ桑名町氏子惣代ノ資格ヲ以テ正服用祭式ニ列スルモノトス

第九條 取締長ハ毎町一名トシ其ノ町適宜ノ方法ヲ以テ選舉會ヲ開キ當選人ノ姓名ハ二名以上ノ連署ヲ以テ社務所へ届出テ其ノ承認書ヲ領收スルモノトス但一組ニ一名ノ幹事ヲ定メ急速ノ告

知ヲ取扱ハシムルモノトス

第十條 取締長ノ任期ハ六ケ年トシ三年毎ニ全部ノ半數ヲ改選ス最初ノ改選ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但前任者ヲ再選スルモ妨ケナシ

第十一條 取締長ハ其ノ町氏子惣代ノ資格ヲ以テ社務所ノ通知ヲ受ケ正服用祭式ニ列スルモノトス但病氣他出等止ヲ得サル事故アル時ハ必ス取締人ヲ以テ代理爲サシムルモノトス

第十二條 取締長ハ其ノ町氏子惣代トナリ凡テ負擔金額ヲ取纏メ期日ニ必ス社納スルモノトス

第十三條 取締長ハ組合町ノ規約及其ノ町限リノ約則ヲ設ケ其ノ違犯者ヲ處分スル事ヲ得但組合町ノ規約書ハ祭事委員ノ檢閲ヲ受クルモノトス

第十四條 取締長ハ平素タリテ組合町及ヒ其ノ町取締ノ責ニ任スルモノトス

第十五條 取締長タルヲ得ヘキ者ハ桑名町ニ居住シ公民權ヲ有スル者ニ限ル但左ノ各款ニ觸ル、者ハ取締長タル事ヲ得ス

第一款 公權剝奪及停止中ノ者

第二款 身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

第十六條 第十五條ノ規定ニ依リ取締長ヲ選舉スル能ハサル町内ハ社務所ニ届出テ祭事委員會ノ認定ヲ經タル者ヲ選舉スル事ヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ町内一同ノ連署ヲ要スルモノトス

十七

第十七條 祭事委員取締長ノ神役ハ毎年七月一日御神前ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 祭事委員取締長ノ席次ハ當選届出ノ前後ニ依ル同日ナル時ハ年長者ヲ上席トシ同年ナル時ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但六ケ年間勤続ノ後一旦中絶スルモ三ケ年内ニ再勤スル者ハ元席ニ復スルコトヲ得

第十九條 取締人ノ氏名ハ毎年七月一日其ノ町取締長ヨリ社務所へ届出ルモノトス

第二十條 取締人ハ平素タリテ取締長ノ職務ヲ補佐シ其ノ町取締ノ責ニ任スルモノトス

第二十一條 取締人ハ祭典議事規則第七條ノ場合ヲ除キ取締長事故アルキハ代理スルモノトス但其ノ姓名ハ社務所へ届出ツベシ

第二十二條 石取御神事ニ付組合界杭設立シタル上ハ取拂フマテ界外へ祭車必ス引出スベカラザルモノトス

第二十三條 例年石取御神事ノ外祭車引出スコトヲ得ス但シ臨時ニ石取祭典執行ノ建議書ニ調印シタル上ハ必ズ祭車ヲ引出シ執行スルモノトシ如何ナル場合ト雖モ取消シ得サルモノトス

第二十四條 祭車引出シ時間ニ至ルモ整列セザル祭車ハ便宜ノ場所ニ引込ミ置キ末番ニ列セシムルモノトス

第二十五條 祭車挽回ノ節ハ前車ト後車トノ距離ヲ正シ綱先三間ヲ定度トシテ順次ヲ亂サズ進行

セシムルモノトス

第二十六條 祭車ノ進行ヲ停止セサルヘカラサル事故又ハ行違ヲ生シタル時ハ其ノ町ノ祭車ヲ他ニ引込ミ置キ後車ヲ前進セシムルモノトス但停止中ハ鉦鼓打囃子ヲ止ムルモノトス

第二十七條 第二十九條ノ規定ニヨリ行違ヲ生シ祭車ヲ他へ引込置クトキハ其組合町ハ關係ナク祭車ノ進行ヲナスモノトス

第二十八條 本祭日渡祭ノ節ハ御社頭ニ參拜ノトキ点燈スルヲ合圖ニ順次祭車ニ点燈スルモノトス

第二十九條 本祭日祭車參拜ノ後歸リテ組合町ヲ巡回スルニ際シ他ノ祭車ノ歸路ハ決テ遮斷スベカラズ

第三十條 石取御神事ニ付桑名郵便電信局前及左右ハ鉦鼓打囃子ヲ停止スルモノトス

第三十一條 電信電話線ニ接觸セザル様注意シ萬一誤テ切斷シタル時ハ其町ノ責任タルベシ

第三十二條 祭車山形共総高拾八尺以下トス

第三十三條 御社頭定式ノ提灯ニ類似ノ提灯ハ携帯ヲ許サザルモノトス

第三十四條 萬一行違ヒヲ生シタル時ハ必ズ取締長又ハ取締人ニ届出テ狼リニ争鬭等スベカラザルコト

第三十五條 平常石取御神事類似ノ鉦鼓打囃子ハ陸車及ヒ如何ナル場所ト雖モ嚴禁スル事但鎮守社ノ例祭ニ限リ鉦鼓打囃子スル場合ニハ境内及一定ノ場所ヲ定メ社務所へ届出テ許可ヲ受クルモノトス

第三十六條 祭典取締上ニ關シ係員若クハ取締長ノ指揮命令ハ服従スヘキモノトス

第三十七條 第三十六條ノ規定ニ背キ係員若クハ取締長ニ對シ抵抗又ハ暴行等ヲ加ヘシ者アルトキハ第三十八條ニヨリ處分スルモノトス

第三十八條 規約ニ違反シタル者ハ其ノ町ヨリ壹圓以上貳拾圓以下ノ違約金ヲ出シ又ハ一ケ年以
上三ケ年以下ノ休祭ヲ爲サシメ或ハ翌年祭車ノ油籤ヲ除キ末番ニ列セシメ取締長ノ改選ヲ命シ
又ハ譴責ニ附スルコトアルヘシ但違約金額休祭年數取締長改選譴責等ハ祭典會議ニ於テ決定シ其
ノ違約金額ハ祭典費中へ加フルモノトス

第三十九條 止ラ得サル事故アリテ此ノ取締規約ヲ改正加除セムトスル時ハ議員三分ノ一以上ノ
勸議アルカ御社頭係又ハ祭事委員一同ノ不可ト認ムルニアラサレハ會議ニ附スル事ヲ得ス
附 則 石取御神事御神樂料ハ七月七日必ス社納スルモノトス

祭事係章規約

- 一 御社頭係祭事委員祭典係取締長ハ祭典ノ節別紙雛形ノ章牌ヲ胸間ニ着用スルモノトス但取締長事
故アリテ取締人代理スル時ハ其ノ旨豫テ届出ノ上着用スル事ヲ得
- 一 前項係員改選辭職等ノ節ハ章牌ヲ社務所へ返附シ社務所ヨリ後任者へ交附スルモノトス
- 一 章牌紛失ノ節ハ直ニ社務所へ届出テ新調ヲ請ヒ其ノ實費ヲ納ムルモノトス

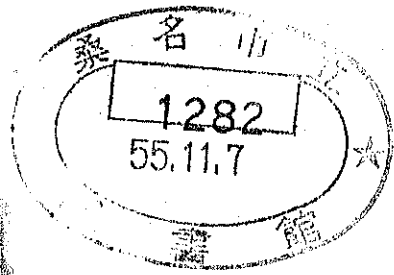
圖 略 ス

祭	御社頭係	祭典係	取締長
事	委員	係	
係	銀	經	厚
章		六	一
		分	分

定式提灯雛形

取締人	取締長	祭典係	祭事委員	御社頭係	祭事係
同	同	同	同	馬上	提灯
九縮三箇	黒三筋合印三箇町名黒	上黒三筋下朱藤輪合印 家紋一箇中黒三大三箇	紋三箇 黒三筋合印墨大三箇家	上黒三筋下朱藤輪中家 紋三箇	家紋三箇 黒三筋合印朱上藤三箇
					定式

圖略ス



大正四年四月十六日配付

